
Study Abroad Report in France



留学準備と渡航

私の初回授業は2月17日だったため、余裕を持って一週間前に到着する便を選び、2月10日に渡仏しました。飛行機は価格、荷物の許容量、所要時間を考慮し、最終的にカタル航空に決定しました。半年間の留学で長期学生ビザを取得していたため、帰国便が未定でも特に問題はありませんでした。

航空券は「スカイスキナー」というアプリを利用し、留学生向けの割引を適用することで片道約8万円のチケットを確保できたのが幸いでした。

費用と奨学金

私は月8万円の奨学金に加え、渡航費補助16万円、そして物価手当として毎月2

万円の補助を受けることができました。家庭の収入や GPA などの審査基準はありますが、この奨学金があったからこそ、私の留学は実現しました。

交換留学のため、学費の負担はなく、基本的に必要なのは現地での生活費のみです。とはいえ、物価高の影響や海外生活に必要な備品の準備などもあり、決して安くはありません。それでも、渡航費や家賃が奨学金で大部分カバーできたのは大きな助けとなりました。

もし金銭面で留学を諦めている人がいたら、一度教務学生室に相談することをおすすめします。

住居とダブルブッキングのトラブル

留学が決まった際、フランスの学校からレジデンス情報を紹介され、当初はそこに申し込みをしました。しかし、管理会社からの返信が遅く、すでにフランスに留学していた友人を通じて、彼女の住んでいた家を紹介してもらい契約しました。

ところが、出国の 1 か月前になって、ダブルブッキングが発覚。初めの 2 週間は住めないことが分かったのです。

その時点で他の家を自力で探すのは困難だったため、急いでフランスの先生に相談。先生が学校紹介のレジデンスのオーナーとコンタクトを取ってくれましたが、希望の部屋はすでに埋まっていました。最終的には Airbnb で 2 週間分の住居を予約し、その後、元々契約していた家に引っ越しました。

慣れない環境での住居探しは想像以上に大変でしたが、先生のサポートもあり、なんとか解決できました。

現在の住まいは、家賃 650 ユーロ（約 10 万円）でインターネット、光熱費、水道代込み。学校から徒歩 10 分の立地です。オーナーも親切で、家の設備も整っており、少し値は張るものの満足しています。一方、学校紹介のレジデンスは空港近くにあり、学校まではバスで 30 分ほど。家賃は 500 ユーロ（約 8 万円）で、多くの留学生はそちらに住んでいるようです。

カンヌの小旅行

フランスに到着後、授業開始まで少し時間があつたため、一学期前に留学していた友人とカンヌへ小旅行に行きました。ニースからバスで1時間ほどの距離にあり、カンヌ国際映画祭の開催地としても有名な街です。

カンヌは、歴史を感じる建物が多く、どこか重厚な雰囲気がありました。しかし、単なる静かな街ではなく、街全体からエネルギーのようなものを感じました。特に、太陽の光が建物に反射して街を包み込むような美しさ、人々の堂々とした立ち振る舞いには、独特の活気がありました。

丘の上に建つ教会にも訪れました。荘厳な空間には静寂が広がり、ステンドグラスから差し込む光が神秘的でした。カンヌは観光地として有名ですが、ただ賑やかなだけでなく、どこか落ち着いた魅力も持つ街でした。



ニースでの生活

ニースは、海がとても美しく、ビーチ沿いには開放的な雰囲気が漂っています。私の通う学校も海の近くにあり、お昼休憩には友達とビーチでランチを取ることもあります。皆それぞれ持ち寄った食事を楽しんだり、寝転んで日差しを浴びたりと、穏やかな時間を過ごしています。

また、留学チームでディナーに行った際、それぞれの国の文化や生活スタイルについて語り合うのがとても興味深かったです。今学期の留学生は私を含め7人で、アメリ

カ、カナダ、アルゼンチン、チリ、スペインなど様々な国から来ています。今後、もっとお互いの文化を学び合い、仲を深めていけたらと思います。

カーニバル・フェスティバル

2月・3月はニースで大規模なカーニバル・フェスティバルが開催される時期です。市街には大勢の人が集まり、街全体が活気に包まれる一大イベントでした。

特に、巨大なパレードやDJによる音楽、仮装した人々、華やかな光の演出は圧巻でした。通常、パレードを見るには20ユーロほどのチケットが必要ですが、一度だけ「Student Day」という学生無料の日があり、その日に留学生チームで見に行きました。

街は大盛り上がりでしたが、私は人混みやタバコの匂いが苦手なこともあり、後半は少し疲れてしまいました。それでも、この時期にしか体験できないフランスの文化を肌で感じることができ、良い思い出になりました。



体調不良とブートキャンプ

授業初日の前日、突然喉に違和感を感じ、夜には発熱。その後、一週間も体調が回復せず、まさかの初回授業を全て欠席する事態になりました。

学校の先生に相談すると、病院（総合病院ではなくいわゆるかかりつけ医）の予約を取ってくれました。診断の結果、「何かのウイルスだね〜。数日休んで！」とあまり深刻そうではなく、診断書と処方箋をもらい、欠席扱いにはなりませんでした。不幸中の幸いでしたが、出だしから大きな躓きとなりました。

授業について

授業が始まると、日本の大学とは異なり、履修登録の必要がなく、クラス全員で同じ授業を受ける形式でした。9時開始、16時30分終了というスケジュールで、実践的な授業が多いのが特徴です。

最初のデザイン課題は「キッチンの道具をリデザインする」というもので、グループでベンチマーク、ブレインストーミング、ペルソナ設定などを進めました。

英語が苦手な私は、意見を伝えるのに苦戦していますが、周りの助けを借りながら少しずつ挑戦していきたいと思います。言語の壁は想像以上に高いですが、ここでの経験を糧に成長していきたいです。

